



ナメクジに塩しおをかけるのはなぜ

ナメクジ退治たいじ

ナメクジに塩しおをかけるのは、ナメクジ退治たいじのためです。

スプーン1ぱいの塩しおを机つくえの上うえにおいたままにしておくと、やがて湿しめってきます。塩しおが、空気くうきちゆう中の水気みずけを吸すうためです。このように、塩しおは水分すいぶんを吸すい取るはたらきがあります。塩しおをナメクジにかけると、ナメクジの体からだから水分すいぶんをうばいとり、塩しおが体からだの中なかに入はいっていきます。

ナメクジは、体からだを守る殻まもを捨てたカタツムリといえます。ナメクジの体からだがねばねばしているのは、体からだから水みずがにげていくのを防ふせぐためです。体からだから水分すいぶんがででていけば、生いきてはいけないのです。

ナメクジの出やすい場所で ばしょ

植木鉢うえきばちの底そこ、落ち葉おやかれ枝えだなどの積つみ重かさなった、じめじめした場所ばしょに多くおおいます。暗くらくてじめじめし、すきまのある台所だいどころには、えさもたくさんありますので、よく出でます。台所だいどころは、ナメクジのすみかになります。台所だいどころにおいてある塩しおをかけて退治たいじできます。

(監修・中山 周平)

